

- ・創造する生徒
- ・心豊かな生徒
- ・鍛える生徒

藤花だより

「あい」のあふれる学校を目指して

校長 佐藤和男

この度、4月1日に松井育夫校長先生の後任として、さいたま市立辻小学校校長より、本校に着任いたしました、佐藤和男です。昨年度までの8年間の小学校での勤務経験を、中学校の教育活動に活かすことができるよう、努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、校庭の桜やチューリップが咲き誇るこの佳き日に、平成28年度始業式・入学式が行われました。改めまして、お子様の進級・入学おめでとうございます。143名の新入生を迎え、生徒数461名、教職員数42名の体制で、平成28年度、さいたま市立大宮西中学校がスタートいたしました。どの生徒の顔を見ても、希望に目が輝いていて、新年度に向けての決意が感じられ、うれしく思いました。

本日の始業式や入学式では、子どもたちに次のような話をしました。大宮西中学校の今年の大きな目標として、全ての学校生活において、「あい」のあふれる学校にしていこう、と呼びかけました。「あい」のあふれる学校とは、自分の学校や自然や動物を愛し、共に「学び合い」「助け合い」「励まし合い」「認め合い」「教え合い」等があふれる学校にしていこう、という意味です。この「あい」があふれる学校を実現するための、今年度の基本方針が以下の通りです。



1 学校教育目標

『創造する生徒（かしこく）、心豊かな生徒（ゆたかに）、鍛える生徒（たくましく）』

2 目指す学校像 ～『愛情と信頼に支えられた、夢と希望をはぐくむ学校』～

- (1) 生徒、教職員、保護者・地域の人々に愛され、誇りに思える学校
- (2) 生徒一人ひとりを大切にし、自己存在感、自己有用感を育てる学校
- (3) 自然を大切にし、安心・安全で潤いのある教育環境が整った学校

これを、それぞれの立場で考えると、

◎生徒にとって・・・「学べてよかった学校」

◎地域や保護者の皆様にとって・・・「地域にあってよかった学校、
通わせてよかった学校」

◎私たち教職員にとって・・・「仕事に誇りを持ち、
勤務してよかった学校」

これらの実現のため、私たち教職員は、教育目標の具現化に向けて、自らのよさを発揮し、学校経営に積極的に参加する教職員をめざし、チームワーク（組織）、フットワーク（機動力・誠実）、ネットワーク（情報の共有）を大切にする教職員集団の充実を図り、一人ひとりがわかる授業の展開し、生徒の気持ちに寄り添いながら、教師力の向上に努めてまいります。詳しい、その実現を目指した重点項目につきましては、保護者会や教育課程説明会等においてご説明いたします。

平成28年度、教職員一致協力し、生徒、保護者、地域の皆様から愛され、信頼される学校づくりを目指して邁進する覚悟です。保護者や地域の皆様におかれましては、西中の生徒のために、今後とも、変わらぬご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。